

群馬クレインサンダーズの記者会見について

本日、公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ（Bリーグ）の会議室におきまして、群馬クレインサンダーズの新体制についての記者会見が行われました。



席上、群馬クレインサンダーズの運営会社である株式会社群馬プロバスケットボールコミッションの北川社長より、当社オープンハウスの経営参加とそれに伴う新経営体制が発表されました。

会長 荒井正昭（株式会社オープンハウス代表取締役社長）
代表取締役社長 北川裕崇
取締役 吉田真太郎（株式会社オープンハウス・ディベロップメント常務執行役員開発事業部長）
取締役 二村正弘（株式会社上毛新聞顧問）
監査役 田村勝彦（株式会社オープンハウス 管理本部財務部長兼経理部長）

会見でのコメントは以下の通りです。

<代表取締役社長 北川裕崇 コメント>

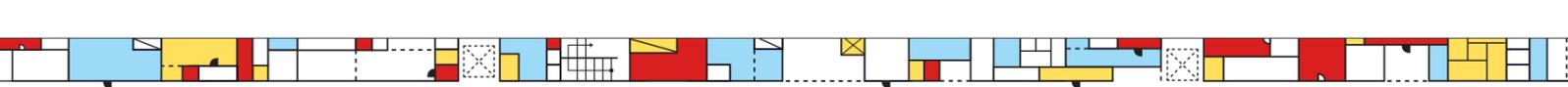
日頃より、群馬クレインサンダーズへの多大なる、ご支援・ご声援を誠にありがとうございます。

この度、株式会社群馬プロバスケットボールコミッションは新経営体制にて新たなスタートを切ることとなりました。

株式会社オープンハウスと共に、チーム力はもちろん、課題であった経営面を強化し、昨シーズン成し遂げることのできなかつた「B1 ライセンス取得」「B2 制覇」そして「B1 昇格」を群馬一丸となり目指してまいります。

そして、何より地域の皆様と向き合い、地域に根ざしたチームを作り上げていくことを第一に考えていきます。また、チームスローガンである「バスケットで群馬を熱くする」を合言葉に、応援してくれている全ての人が幸せになれるよう、全力で取り組んでいきたいと思っております。

今後とも、変わらぬご支援・ご声援をよろしくお願い申し上げます。



<取締役 吉田真太郎 コメント>

株式会社群馬プロバスケットボールコミッションの取締役に就任しました吉田真太郎と申します。オープンハウスグループでは、株式会社オープンハウス・ディベロップメントの常務執行役員開発事業部長を務めております。

私もオープンハウスグループは、戸建事業を中心に、マンション事業、収益不動産事業、アメリカ不動産事業などを手掛ける総合不動産会社です。今期の連結売上高は5,100億円を予想しており、2013年の東証一部上場以降も業界日本一を目指し成長を続けております。

この度は、3シーズン目を終え、ますます人気上昇中のBリーグでもNo.1を目指すべく、群馬クレインサンダーズを支援し共に戦っていくことを決意しました。まずは来シーズン、ブースターの皆様、地域関係者の皆様の悲願とも言えるB2制覇・B1昇格を果たし、さらにはB1でも早期に上位を目指せるクラブ経営の強化とチーム作りに協力していきたいと思っております。

「バスケットで群馬を熱くし、さらには群馬から日本一を目指します。」

尚、株式会社群馬プロバスケットボールコミッションは、当社オープンハウスが全株式の69%を保有する子会社になります。

【アースフレンズ東京Z関係者の皆様、ファンの皆様へ】

トップパートナーとして2シーズン、アースフレンズ東京Z関係者の皆様、ファンの皆様には大変お世話になりました。この度、同じB2に所属するチームの運営に参加することになりましたので、残念ながら2019-20シーズンのパートナー契約を辞退させて頂くこととしました。今後は、お互いB1を目指すライバルとして切磋琢磨して共に成長していければと願っております。

【本件の問い合わせ先】

株式会社オープンハウス

マーケティング本部 山田 080-4404-3930

